

令和2年5月25日発行

令和2年度第1回地域協議会は、4月22日(水)午後2時から二ツ井町庁舎大会議室で開かれました。地域自治区の設置期限が令和3年3月末と迫る中、齊藤市長から第8期委員へ委嘱状が交付されました。なお、協議会は新型コロナウイルス感染症対策のため、会議時間の短縮、出席者も縮小して行われ、「二ツ井地域局の概要」「二ツ井地域局の主要予算」について、説明及び質疑は行いませんでした。協議会の概要は、次のとおり。

### 二ツ井地域の新たなまちづくりへ 第8期委員を委嘱



第7期地域協議会委員の任期満了に伴い、新委員が選任され、齊藤市長から委嘱状が交付されました。新委員14名の内訳は、

地区推薦6名、公共的団体3名、識見5名(公募委員は無し)の構成となっています。

### 「わのまち能代」「ふるさと二ツ井」の 発展のために --市長あいさつ--

平成18年3月に旧二ツ井町と旧能代市が合併し、新しい能代市が誕生して14年が経ちました。ご承知のとおり合併に際し、二ツ井町民の合併に対する懸念や不安の解消、



地域住民の意見等を市政へ反映させたいということで地域自治区を設置させていただきました。当初は、10年間の予定でありましたが、27年8月に地域協議会の皆様方から延期してはどうか、という意見書をいただきました。

さらには新市建設計画も5年延長したことから、5年間延長させていただくことになりました。

皆様方からはこの間163項目にわたるご協議をいただきました。皆様方のご意見をしっかりと市政に反映させてきた思いしておりますけれども、これからも真摯な意見交換をしながらこの「わのまち能代」「ふるさと二ツ井」発展のために生かしていきたいと考えておりますので、どうか委員の皆様方のお力をお貸しくださいますことを心からお願い申し上げます。

皆様方から忌憚のないご意見を頂戴いたしまして、実り多い会議となりますようご協力のほどお願い申し上げます。

### 新会長に齊藤陽悦氏 副会長に畠山美紀子氏



地域自治区の設置に関する条例に基づき、新委員による互選をおこない、会長に齊藤陽悦氏、副会長に畠山美紀子氏を選任しました。

齊藤会長は「平成18年8月に誕生した地域協議会も最後の1年となった。地域自治区廃止後の二ツ井地域の課題やまちづくりについて皆さんと一緒に話し合い、ともに協議しなければならない。二ツ井活性化のため、皆さんのご協力をお願いしたい。」

また、畠山副会長は、「二ツ井地域の活性化のため、皆さんと一緒にがんばりたい。」とあいさつしました。

### 令和2年度 二ツ井地域局の概要

令和2年度の二ツ井地域局の体制は、総務企画課・市民福祉課・環境産業課・建設課の4課で構成され、職員数は前年度比較で1人減となっている。これは、道の駅事業の縮小に伴い、総務企画課地域振興室職員が1名減となったもの。なお、教育委員会を含めた二ツ井町庁舎の勤務職員数は、正職員79名、会計年度任用職員25名の計104人(※)で前年度より3人増となっている。

※104人は施設に勤務する職員(子ども園12人、ゆっちゃん1人、出張所1人)を除いた人数



## 令和2年度 ニツ井地域局主要予算

### 【総務企画課の予算概要】

●仁鮎保育園解体事業費(新規)は18,679千円で、老朽化に伴い建物を解体する工事費等。

●自治振興事業費(新規)は8,802千円で、旧種梅保育園譲渡(予定)に伴う改修工事費等。

●道の駅ふたついで施設管理費は32,677千円、対前年度比1,093千円の増額で、施設の指定管理料が主なもの。

●道の駅ふたついで喫煙所・風除室整備事業費(新規)は13,804千円で、喫煙所・風除室の設置工事費等。

●恋文のまちづくり推進費は11,515千円、対前年度比2,535千円の減額で、シリーズ恋文公演休止が主なもの。

### 【市民福祉課の予算概要】

●高齢者ふれあい交流施設管理費は20,184千円、対前年度比1,668千円の増で施設管理費が主なもの。

●放課後児童クラブ事業費は16,005千円、対前年度比489千円の増で、ニツ井児童クラブ「すぎっこ」の運営費。

●子育て支援センター事業費は5,172千円、対前年度比1,411千円の増で、さんぽえむ運営事業費。

### 【環境産業課の予算概要】

●鳥獣被害(農作物)防止対策事業費は2,310千円、対前年度比297千円の増で、能代市鳥獣被害対策協議会への補助金が主なもの。

●県営ほ場整備事業費は下田平地区6,170千円、荷上場地区7,800千円、小掛・鬼神地区6,674千円で、各地区工事に対する10%の県への負担金。下田平地区は令和2年度、荷上場地区及び小掛・鬼神地区は令和3年度完了。

●林業専用道整備事業費(西ノ沢船打沢南線・田ノ沢悪戸線)は11,935千円で、開設工事に対する負担金が主なもの。

### 【建設課の予算概要】

●社会資本整備総合交付金事業は187,710千円、対前年度比84,652千円の増額。国から対象事業費の約60%が交付され、主に市道の側溝や舗装改修工事を行う。今年度は委託2箇所、工事10箇所のほか除雪機械を購入。

●除排雪対策費は69,658千円で、対前年度比2,942千円の増額。除排雪委託料や防雪柵設置・撤去が主なもの。

●きみまち阪公園等管理費は21,402千円で、対前年度比17,005千円の減額は、遊歩道整備工事等終了によるもの。

●市営住宅維持管理費は41,341千円、対前年度比9,303千円の増額。屋根・外壁補修工事戸数の増が主なもの。

●簡易水道事業費は153,511千円で、対前年度比4,472

(右上へ)

千円の減額。富根・仁鮎簡易水道事業固定資産台帳等整備事業費の減が主なもの。

●浄化槽整備事業費は29,836千円で、対前年度比2,697千円の減額。浄化槽設置基数の減が主なもの。

## 地域自治区の今後の方針について

### 1.「令和2年3月議会定例会での市長説明要旨」

地域自治区についてであります。合併特例法の規定により合併前のニツ井町の区域に設置している地域自治区の設置期限が令和2年度末で満了することを受け、庁内検討会議を設置するとともに、地域協議会等の御意見をお伺いしながら今後の方向性について検討しております。

本市は、合併から14年が経過しようとしており、この間、両市町で異なっていた行政サービス等の統一のほか、ニツ井地域においてはニツ井小学校建設、ニツ井荷上場地区簡易水道整備、ニツ井図書館整備等の地域振興事業に取り組んでまいりました。

こうしたことを踏まえ、庁内検討会議においては、地域自治区は一定の役割を終えたものと考え、設置期限をもって廃止する方針を取りまとめたところであります。

市としては、引き続き地域自治区の廃止により見直しが必要となるニツ井地域局の組織体制や「ニツ井町」の住所表示等について対応を検討してまいりたいと考えております。

### 2. 方針

地域自治区は、設置期限である令和3年3月31日をもって廃止する。

### 3. 主な関連事項の検討状況

○地域自治区の設置に関する条例により地域自治区の事務所となっているニツ井地域局については、現行の住民サービスや災害対応等を考慮しながら、地域自治区廃止後の組織・機構を検討する。

○合併特例法により地域自治区名の「ニツ井町」を冠しているニツ井地域の住所表示については、地域自治区の廃止に伴い表示終了となるが、地方自治法に基づく字名の変更手続きにより、現行の住所表示を維持する方向で検討する。

○地方自治法及び地域自治区の設置に関する条例により設置されている地域協議会については、地域自治区と同時に廃止とする。

### 【第8期地域協議会委員】・・・五十音順

穴山 勇 孝・菊池 敏 幸・工藤徳一郎・齊藤いほ子・齊藤 陽 悦  
佐藤 力・清水 博文・成田 粹 子・成田 弘 子・畠山 一 昭  
畠山美紀子・原田 正 幸・松嶋 俊 一・山谷 清 貴

### 【発行】ニツ井地域局 総務企画課

能代市ニツ井町字上台1-1  
電話 0185-73-2112  
FAX 0185-73-5224